

ございますが、本年は地元選挙があったことから、開催を控えさせていただきました。

私の選挙公約でもある「上島町のため、夢・人・絆・心をつなぐ政治を実践する」ためにも、今後もさまざまな形で、町民の皆さまの声を直接お聞きできる機会を作っていきたいと考えています。

9月21日には弓削商船高等専門学校の商船学科卒業式並びに専攻科修了式に出席し、120年を超える伝統の重さを再認識いたしました。この歴史ある学校とともに上島町が歩み続けることの大切さを、先人への感謝とともに引き継いでまいります。

9月23日から、いきな秋季大運動会を皮切りに、各地において運動会が開催されました。離島留学制度により魚島小・中学校や弓削高校に多くの児童生徒が増えたことや、子ども達の練習を積み重ねた熱心な演技などを目の当たりにし、多くの元気をもらいました。

9月29日、上島町合併20周年記念式典および合併記念イベント「ゆめしまフェスタ2024」を岩城地区で開催し、式典で発表された地元小学生4人による「こども宣言」は、本町の新たな出発へのファンファーレとなりました。

引き続き行われた記念イベントは

て、関心を高く持っていた町民の皆さまに敬意を表します。

11月3日は町長と町議会議員選挙の開票日であり、ご案内のように、町民の皆さまの民意が強く反映されました。この結果につきましては、11月15日の臨時議会で所信表明としてお伝えさせていただいたので、本日は省略させていただきます。

なお、11月7日が私の初登庁となり公約を含めた今後の方針については、課長会等において職員の方々に伝えました。

11月8日には行革甲子園2024に出席しました。行革甲子園とは、地方自治体を取り組んできた「行政改革」の取り組みを発表し表彰する行革先進県である愛媛県を象徴する県独自の大会です。

今年、「地方公務員が放つ！愛顔あふれる未来への一打」をサブタイトルに、北は北海道余市町から南は福岡の北九州市まで全国7市町村の先進事例を聞くことができました。

どの団体の発表も上島町にも活かせるものが多くあり、町の更なる行政改革の必要性を認識させられました。

11月8日、尾道市において「Setouchi Velo協議会 総会」が開催され、愛媛県や広島県をはじめとした瀬戸内の9県と、それに関わる各地方整備局、運輸局、経済産業局、本州

「上島町の歴史を振り返り、今現在の幸せを感じ、未来へ繋ぐ」をテーマに開催し、町内出演者やゲストによる催しに加え、町内の「だんじり」のかき比べにより、上島町の一体感を覚える熱量がありました。



10月11日には愛媛県市町連携推進会議に出席し、中村知事をはじめ20市町の首長、愛媛県幹部職員出席のもと、チーム愛媛として議論が交わされました。

特にデジタル変革（DX）については、首長（町長）自らが積極的に対応しなければならぬ課題であることを再認識いたしました。

10月12日には、これまで食事を提供する店が無かった高井神島に、この春移住して来られたご夫婦により、島史

四国連絡高速道路株式会社、また、瀬戸内地域のサイクリングルートを管理する自治体が出席しました。

この協議会は3期目を迎え、活動エリアがさらに拡大しており、上島町としてもこの協議会を通じて、さまざまな機関と連携を深め、サイクリングに適した魅力ある町を発信してまいります。

11月9日、10日の2日間、弓削体育館において上島町文化協会が主催する令和6年度上島町文化祭が行われ、10日には芸能発表会が開催されました。

本行事は、町民の文化・芸術活動の発表の場として、また地域の文化振興の催しとして重要な役割を果たしており、今後も町民の皆さまが文化活動へ参加できるように支援してまいります。

11月11日から15日にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しておりました敬老イベントを、4年ぶりに各地区で開催いたしました。

今年から暑い時期を避けて11月の開催に変更したこと、テーマを各地域ごと「健康」「終活」「昔懐かしいお楽しみ」「三世代交流」とし、対象者はどの島でも参加することができるようにしたこと、島を越えた参加や交流も見受けられました。

上初の飲食店「食事処『まんが亭』」が正式オープンし、家族共々で訪問しました。

高井神島は、「漫画の島」としての知名度も徐々に上がって、観光目的の来島者も増加しており、来年には民間による「漫画学校」を開校する準備が進んでいます。

高井神島は、将来の上島町の縮図でもあり、日本全体が抱える課題が先鋭的に表れている地域ですので、行政自らできる限りの支援をしていく必要があると考えています。

10月24日、「内閣官房新しい地方経済生活環境創生本部事務局」から3名の職員が来町され、上島町でのデジタル田園都市国家構想推進交付金活用状況を視察されました。

この視察では、上島町デジタルサポートルームの運用概要を説明するなど、リアルな授業配信現場を確認していただきました。

本町のデジタルサポートルームは、自分の所属する学級の授業がリアルタイムで受けられるように整備していることなどから、「他の自治体のサポートルームとは全く雰囲気が違う」との感想や「誰一人取り残さないための環境づくり」、「クラス復帰へのステップアップとしての体制づくり」などへの好評の言葉をいただきました。

10月27日、「サイクリングしまなみ

今回、新たな取り組みに変更した敬老イベントは、多年にわたり社会に尽力してきた人生の大先輩を祝福・敬愛することが大きな目的であることはもちろんですが、敬老会に出席することで、高齢者自らの自立生活の向上に努める意欲の増進を図ることができたのではないかと思います。

11月15日には第2回臨時議会が開催され、議長・副議長をはじめ各委員会委員長等の人事案件や専決処分（補正予算）等の議決がありました。当日の所信表明でも申し上げましたが、新たな上島町のスタートラインとして明るい希望が見える議会になりました。

11月16、17日の2日間、日本全国の170以上の離島が集い、島と都市、島と島とをつなぐ交流イベント「アイランダー2024」が、東京都の池袋サンシャインシティで開催されました。

上島町においても、「東京をはじめとする関東の方への町のPR、そして全国の離島の方々との交流を図ること。」を目的に、毎年、ブース出展しており、今年も特産品販売に加え、観光案内や移住相談等のPRを行いました。

11月20日、離島振興対策協議会（離島関係都道府県）と全国離島振興協議会（離島関係市町村）の合同で行われる「令和7年度離島振興関係予算確保のための要望運動」に全国離島振

2024」が開催され、国内から47都道府県、国外からは27カ国・地域、合計3446名の参加がありました。

8つのコースがある中で、上島町を走り抜ける2つのコースは、瀬戸内の多島美とともに温かい住民のおもてなしを満喫することができると、受付の時点から高い評価をいただいております。

当日は天候にも恵まれ、ボランティアスタッフの親切な対応やエイドステーションでの特産品の提供、海原獅子などによる歓迎があり、約800名の上島町コース参加者からも、島民からの声援に励まされてゴールまで走れたという声もありました。

特に今回は、町内15の団体や学校から「応援隊」への応募をいただき、コースの清掃や、大きな応援メッセージの作成、沿道からの笑顔あふれる声援など、思い思いに大会を盛り上げていただく活動で参加者を元気づけていただきました。

この大会は、地域の方とサイクリストが交流できる素晴らしい企画であり、町を挙げて受け入れている姿勢を伝えることができましたことに、あらためて感謝いたします。

10月27日は衆議院議員総選挙の投票日であり、上島町は今回も投票率県内1位となりました。皆さんの権利を国政に主張できる有効な方法とし

興協議会副会長として参加し、離島振興関係19事業、特別要望として2件を、離島関係衆参国會議員244名に、全国離島関係市町村を代表して強く要望してまいりました。

詳細については、全国離島振興協議会において広報されていますので、この場では省略させていただきます。

11月21日、水産業振興・漁村活性化推進大会が開催され、滝波農林水産副大臣や衆議院農林水産委員長など来賓多数の出席のもと、「活力ある漁村づくりと水産基盤整備の計画的推進」「資源管理による持続可能な漁業・養殖業の確立」など上島町に関連深い要望も含めた全11項目の要望を決議しました。

11月22日には、高知県日高村で開催された、明日の四国づくりを考える市町村長の会へ出席しました。四国地方整備局道路部、港湾空港部等各部署からの令和7年度予算にかかる情報提供がありましたので、今後も引き続き要望活動を行ってまいります。

11月27日には、四国港湾協議会意見交換会および国會議員、国土交通省に対する要望活動へ参加しました。

瀬戸内海は世界中から注目されており、本町の「ゆげ海の駅」がヨットクルーザーの寄港地として海外からも人気があることから、寄港実績や将来のビジョンなどについて意見交換をさ